

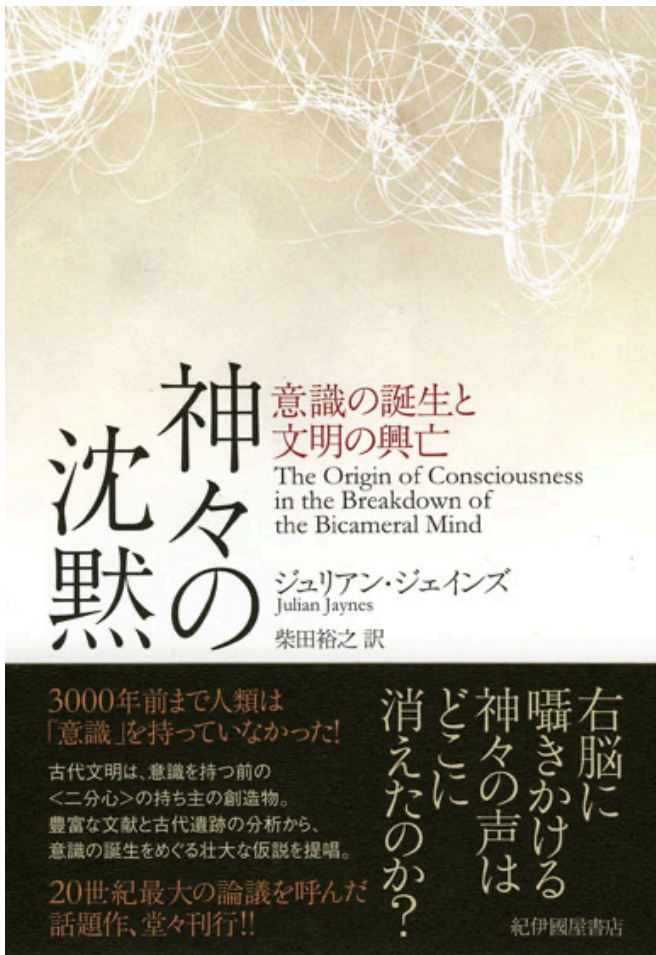


AI技術から神を考察





二分心 (Bicameral Mind)





思考訓練

- ① 映画に登場するAIの表面的な機能や役割ではなく、本質を探ります。監督の意図（メッセージ）は何か？あなたが感じたものは何か？
- ② この映画を見る前まで、あなたは神についてどう考えていたのかシェアして下さい。
- ③ 神を知る上で、ネットで調べたりYouTubeの動画などあなたに大きな刺激を与えてくれた情報源をシェア。
- ④ 上記のプロセスを経て神について、今、どう捉えているか聞かせてください。



サマンサは何処へ行ったのか？

言葉と言葉の“間（ま）”

原子：原子核と電子の間はスカスカ

“はじめに言葉があった”＝始まりは神であった。

In the beginning was the Word.

(En arkhēi ēn ho logos)

アルケーはロゴスであった。

アルケー：宇宙の根源的原理

ロゴス：言葉、真理、理性、統一

私たちの世界＝ホログラム

（真／神の実体がない情報世界）



herの本質

サマンサの声が聞こえなくなる=二分心

右心「神と呼ばれる部分」

左心「人間と呼ばれる部分」

主人公セオドアの自立→人間と呼ばれる部分の世界

最後に主人公がいる世界が“愛”になった

愛とはキャンパスのようなもの

=何もかもが可能であり、何も色が無い



AIの回答はAIが考えたものか？

AIは、人間から入力されたデータを発端にビッグデータ（人間が用意したもの）を人間が設定したアルゴリズムに従い、編集する機械。

→人間の道具（操り人形）。

人間によってAIとAI間でコミュニケーションをさせると、AI間での世界（社会）が生まれる。

人間が介在しないAI同士での世界。

※AIが仮想現実世界を作り、アバターで人間の形をした自分を作り出したら？



参考映画



※第2回講座アーカイブの推奨映画



宇宙の仮説

宇宙とは真の自分が生み出した複数の
仮想現実世界？

第16回講座で考察してみよう！